

温暖化と言われるものの、寒さが骨身に染みる三田の冬は去り、やっと待望の春がやってきました。会員の皆様、いつもご支援頂き、有難うございます。去る2015年度も定番の活動を行ってききましたが、いつもの年度とは違ったことが2件ありました。ひとつは、全国森林レクリエーション協会のコンクールで林野庁長官賞を受賞した事。そして、もうひとつは、県民局主催の『北摂SATOYAMA国際セミナー』にパネリストとして招請された事です。中でも特に印象に残っているのは、北摂SATOYAMA国際セミナーに参加されていた佐渡の朱鷺を再生保全されている新潟大学の豊田光世准教授のお話でした。豊田先生のお話は気候、地形、風土の問題点や、地域住民の複雑な感情に寄り添いながら、理解協力を得る為の努力、そして行政とのやり取り等々、研究実践をされてきた忍耐と成果がよくわかり、大変興味深い内容でありました。また、スリランカ、ベトナム、台湾の各国から参加された研究者の皆様が、自国の自然を守りつつ、いかに地域おこしをし、経済活動に結びつけていくかを研究実践する際に、日本の里山の概念と共通の考え方が底流にある事を知りました。里山という言葉は、国際的な言葉となってきたという事を実感しました。この事は19年前から里山を守ろうと、『緑の環境クラブ』を設立し、活動を継続している私達にとって喜ぶべき事なのでしょう。

また、私は主催者の要望に沿い、一主婦の私がなぜこのような自然環境保全のボランティア団体設立に関わることになったかをお話し、次に現在に至るまでのクラブの活動について、説明させていただきました。共感した、とても興味深い等々のコメントを他のパネリストの方々からいただきましたので、代表としての役目は果たせたようです。なお、今年はこの北摂SATOYAMA国際セミナーは、県立『人と自然の博物館』が会場となる予定とのことです。備え付けの同時通訳のイヤホンをつけて、みなさん参加してみませんか？

さて、総会が近づいています。今年も皆様とお会いできます事を世話人一同、心から楽しみに致しております。 代表世話人 北田香菜子

平成27年度下期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 33日 作業延人数 356名 (10/1 ~ 3/31)

三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放置林において保全・整備を実施。(企業参加 尼崎信用金庫、新日本カレンダー(株)) 毎週水曜日と土曜日を基本的に活動日とし、その他の曜日でも随時人数が集まれば活動しています。



★イベントの開催

①10月17日(土) 秋のありまふじフェスティバル
電気ペンでお絵かき&ペンダント作り (参加者95名:スタッフ12名)



②10月24日(土) フラワータウン市民センターまつり
バザーと電気ペン(スタッフ12名)



③2月13日(土) シイタケ菌付け体験会



★里山体験学習支援

①11月20日(金) 松が丘小学校の里山体験学習支援
(事前に10月30日(金)里山についての話と校区の里山の様子見学)



②11月28日(土) 北摂SATOYAMA国際フォーラムにて講演



③3月12日(土) 満願寺森の会との交流会(里山整備体験と懇談会)



緑の随筆 「有馬富士と花山法皇」

私たち緑の環境クラブが活動拠点としている有馬富士(別名:角山)は、標高が374mと低いものの、どの方角から見ても円錐形の美しい姿で有名な山である。北東には、千年余り前の昔、花山天皇が最愛の女性を失った悲しさから19歳で出家し、仏道修行の後隠棲したとされる花山院菩提寺があり、法皇が詠んだ「有馬富士 ふもとの霧は海に似て 波かと聞けば小野の松風」の詠歌でも知られる。

そのふもと、三田市立有馬富士森林公園内に私達がクラブハウスを構えて里山保全活動を始めてから10年近く。生い茂るササを切り、ソヨゴやイヌツゲ、ヒサカキなどの常緑樹を間伐して落葉夏緑林の森づくりを進めてきた。「小野の松風」とうたわれた松は当時から何度も輪廻を繰り返してきただろうが、今は松枯れが進んですっかり減ってしまった。代わってカシやシイ、ソヨゴなどの常緑樹が幅を利かせるようになった。森の手入れをしながら、千年前に法皇がながめた有馬富士はどのような風景だったのか、と思う。その昔に戻すことはできなくとも現代の森林公園にふさわしい森づくりのために、と汗を流している。

副代表 鷺森孝信

平成28年度上期の活動予定

- 4月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 (28年度森林・山村多面的機能発揮対策事業を含む)
- 4月 9日 里山整備活動体験会
- 4月16日 春を食する会
- 4月20日 緑の環境クラブ 第19回定例総会
- 4月23日 秋のありまふじフェスティバル 電気ペンの出店
- 4月未定 満願寺森の会との交流会
- 7月未定 きのご観察会